

交差点102号

発行：札幌市交通安全運動推進委員会
令和5年3月

ペだるこぐ ぼくのあいぼう へるめっと

内閣総理大臣賞

あぶないよ いそぐきもちに しんこきゅう

文部科学大臣賞

「令和5年使用交通安全年間スローガン」（全日本交通安全協会・毎日新聞社）【こども部門】より

春の交通安全について保護者の皆さまへ

厳しい寒さも過ぎ、子どもたちが期待に胸を膨らませる新入学（園）・新学期がやってきます。

子どもたちの行動範囲がぐっと広がる季節となりますが、雪解けに伴い車のスピードも出やすくなり、子どもを巻き込んだ交通事故の危険性が高まる時期でもあります。

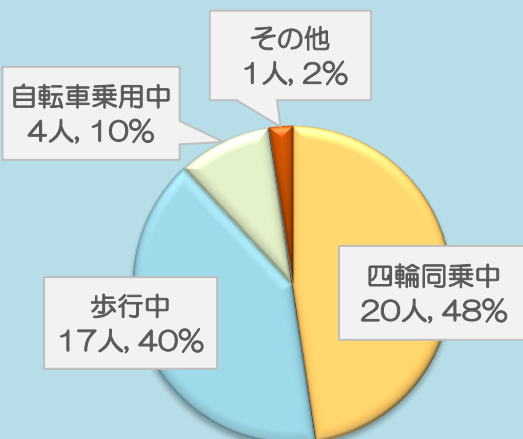
令和4年中の札幌市内における中学生以下の子どもの交通事故死傷者数は185人。3月から5月にかけての期間には、42人が交通事故により死傷しています。

子どもたちが明るく笑顔で新学期を迎えることができるよう、ぜひ春休み期間中にご家庭で交通安全について話し合い、子どもたちの交通安全意識を高めていただきますようお願い申し上げます。

令和4年の札幌市内における中学生以下の交通事故実態

死者数	1年間（1月～12月）	1人（前年比：+1人）
	3月～5月	1人（前年比：+1人）
負傷者数	1年間（1月～12月）	184人（前年比：-29人）
	3月～5月	42人（前年比：+1人）

中学生以下の子どもの状態別負傷者数（令和4年3月～5月）



※グラフ中の%は小数点以下を四捨五入しています。

春の交通事故を状態別で見ると、四輪自動車乗車中の負傷者が20人と、全体の半数近くを占めました。連休のお出かけなど、自動車利用の機会も増える季節となりますが、事故から身を守るため、シートベルトの全席着用を徹底しましょう。

歩行中や自転車乗車中の事故を防ぐため、ながらスマホをしない、道路を渡るときはドライバーと視線を合わせるなど、しっかりと安全確認を行いましょう。



春の交通安全指導のポイント

●雪解けが進み、自転車の利用が増える季節になります。子どもたちには、自転車は車と同じ「車両」であり、ルールを守って安全に利用しないと大きな事故につながることをしっかりと伝えましょう。

また、自転車に乗るときは必ずヘルメットを着用しましょう。

●車の前に飛び出すことを防ぐため、子どもたちが車道や車道のそばで遊ばないように注意しましょう。

●道路を渡るときは、必ず横断歩道を渡ること、周囲をよく確かめることなどを一緒に確認しましょう。



道路交通法の改正により、令和5年4月1日から大人も子どもも自転車に乗るときはヘルメットの着用が「努力義務化」されます。

ぜひご活用ください

札幌市交通安全運動推進委員会では、毎年市内の学校へランドセルカバーや交通安全啓発冊子をお送りしています。



※ランドセルカバー、黄色いワッペン（保険付）、冊子「まもろうね!! 一年生」は新入学児童分を小学校へ、冊子「セーフティ自転車ライダーのススメ!」は全生徒分を中学校・高校へ配布しています。

※写真は令和4年度配布版のため、令和5年度版はデザイン等が変更になる可能性があります。



👉 こうつうあんぜん 4つのおやくそく

どうろをわたるまえに

と ま る



くるまがこないか

み る



くるまのおとを

き く



くるまがとおりすぎるまで

ま つ

